

## 石山・芸術の森地域 石山部会 ニュース

これまで2つの連合会、4つの小学校を一体とした「石山・芸術の森地区検討委員会」として検討してきましたが、より議論を深めるために「部会制」を導入し、石山部会と芸術の森部会に分かれて検討しています。この検討委員会ニュースについても、各部会ごとに発行しています。

### 第3回石山部会 について

9月2日(水)午前10時から、石山会館(石山まちづくりセンター)で第3回石山部会を開催し、「石山小学校の位置に校舎や体育館を新築した新設校を開校する」案について、地域の皆様への意見募集の結果も踏まえて検討を行いました。

### 意見募集の 結果報告について

石山部会ニュース(臨時号)等による意見募集の結果、地域の皆様から寄せられた意見(11件)について、事務局から報告がありました。

#### <統合校の位置に関する意見の内訳>

- (どちらかといえば)石山小学校が望ましい: 2件
- (どちらかといえば)石山南小学校が望ましい: 4件
- その他: 5件

#### <複数寄せられた意見>

- 統合校の位置は石山小学校とすべきだが、新築までは不要
- 石山南小学校の校舎を活用した方が、経費面で合理的
- 統合校の位置を石山小学校とした場合、通学安全等で不安
- 小中連携の観点から、石山南小学校を活用すべき
- 児童専用のバスを出してほしい

#### <その他の意見>

- 新築に係る経費等も含めて提案してほしい。
- 歩かせるのは危険との意見もあるが、実際にどういった箇所が危険か、何時に家を出ないと遅刻するのか、そういうことを身をもって経験すべきではないか。
- 拙速に結論を出さず、時間をかけて賛成多数で実行すべき。
- 「皆さんの声を聞かせてください」という進め方ではいつまでも先に進まず、意見も変わってしまい、まとまらないのではないか。
- 両小学校の子どもたちにも意見を求めるべきではないか。また、石山中学校の生徒に意見を聞くことで、通学等の参考になるのではないか。
- 子どもたちへの教育ではなく、経費の削減を主目的にしているように見える。石山地区は狭く長い地区であり、子どもの通学、交友、防災施設としての小学校分散化は必要であるため、これまでどおり2校体制の継続を求める。
- 統合すれば、子どもたちも多様な価値観に触れることができ、また、クラス替えで人間関係をリセットすることも可能と思う。

## 委員から寄せられた 意見など

### ◆意見募集の結果 について

第3回石山部会では、委員から以下のようなご質問、ご意見がありました。

- 件数がどうというわけではないが、「統合校の場所を石山小学校にする」という方向性に対して、石山南小学校がよいという意見が4件というのは、それほど多くはないのではないか。
- 時間をかけずに結論を出してはいけない、との意見もあったが、この話は様々な形で2年以上も続けてきており、検討はしっかりと行っているのではないか。
- 以前から様々な形で地域に意見をお願いしてきたが、なかなか出てこないというのが正直な感想。この地域の中で、我々委員会としての判断は、やはりある時期にまとめて行なうべきではないか。
- 意見にあった通学安全やバス通学の課題については、検討部会でも認識されていた課題である。
- 意見をみると、通学に対する不安が大きなポイントとなっていることから、統合場所を決定した後、交流事業等も含めて協議していくべきではないか。
- 小中連携については、現在も石山南小学校だけではなく、石山小学校なども含めて石山中学校との連携会議を行っており、石山南小学校の場所でなくては連携ができないということはないと思う。
- 統合に関して児童の声も聞くべきとの意見があったが、どちらの学校がなくなるとか、相手の問題点などを考えさせるのは、教育的にどうかと思う。また、アンケートを行なったとして、その結果どおりにならない可能性があるなら、ハシゴをはずすことにもなりかねず、児童に意見を求める時期や内容は、慎重に考えるべきと思う。
- 子どもたちにとっては、自分の学校を残したいと感じるのが当然ではないか。アンケートは逆に子どもたちを混乱させるのではないか。
- 今回の意見はどれも貴重だが、件数自体はあまり多くはない。一般に、反対意見が強い場合はもう少し件数も出てくると思うので、その意味では「やむを得ない」と感じている方も多いのだと思う。
- 詳細については今後検討を進めるにしても、統合場所は早急に決めて、次のステップに移る時期に来ているのではないか。
- 統合場所を石山小学校にすることについては、地域の意見としてそこまで大きな反対はないと捉えてもいいのではないか。

## ◆その他について

- この検討部会で統合場所を石山小学校に決めたとして、そのとおりに実現するのか。あくまでも教育委員会に対する一意見となるのか。  
**(事務局回答)**  
どんな意見でも必ず実現するとは言えませんが、教育委員会では、いただいたご意見の内容を最大限尊重していきたいと考えています。
- 石山地区の小学校が改めて一つになることから、学校名も「石山小学校」でいいのではないか。
- 校名は今後の検討だが、統合校の場所は石山小学校になるため、石山南小学校の子どもたちが、石山小学校に吸収されたと感じることがないように十分な配慮が必要である。  
**(事務局回答)**  
過去の例では、学校への愛着や歴史など様々な議論がありましたが、最終的には子どもたちのことを考え、新しい学校を開校することとし、新たな校名として開校しています。
- 跡活用に関して、売却等は考えていないのか。
- 両校で学校開放事業が行われているが、2校が1校になると、利用できる体育館が減るため、統合後も利用できるようにしてほしい。  
**(事務局回答)**  
使用しなくなった学校施設の跡活用については、別途地域の皆様にも相談したいと考えていますが、例えば「住宅地」や「商業地」にすべきとなれば売却になりますし、「公共施設」として維持すべきとなれば、その部分は札幌市として所有することもあります。  
体育館が利用できるかについても、これらと併せて検討させていただきたいと考えています。
- 新設校の場所やその理由について、年内にでも説明する機会を設けてもいいのではないか。  
**(事務局回答)**  
新設校の場所以外にも、例えば子どもたちの通学や、新設校の施設の概要など、この検討部会で一定の方向性を定めたいと、年度末を目途に説明会を開催できればと考えています。
- 石山小学校の隣の「穴の川放水路」を、安全管理と駐車スペースの確保という側面から何とかして欲しいという意見がある。  
**(事務局回答)**  
検討の状況に応じて、河川管理者へ相談していきたいと考えています。
- 統廃合という言い方は子どもにとってもあまりいいイメージでなく、それよりも「新しい学校を作っていく」という考えで進めるべき。
- 石山小学校に「開校、地域とともに117年」といった幕があったが、少し感傷的かもしれないが、こういった歴史や「重み」を残していくことも我々の役目ではないか。

- 地域の気持ちを一つにまとめることは非常に難しいが、データを見ると子どもが減少していくのは明らか。そのような中で、今後、この子どもたちにどのような教育ができるのか、どのような地域にしていくのか、という視点が重要。
- この検討委員会ニュースについても、注目度を高めるために、個別・単独で回覧を行なうなど、町内会としても工夫ができると望ましいのではないか。

### 第3回の石山部会 における決定事項



このような検討から、第3回石山部会では以下の方針を確認しました。

現在の石山小学校の敷地内に、  
校舎などを新築した新設校（統合校）を設置する。

新設校の校名・開校時期・施設の概要・子どもたちの通学等については、引き続き検討を進める。

### 工事等の スケジュール（想定）

現時点での工事等の想定スケジュールは以下のとおりです。  
なお、あくまでも現時点でのイメージですので、今後の検討状況や校舎の配置等に応じて変更となる可能性があります。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
設計業務		新築工事		現校舎の解体 グラウト造成等

- ※ 設計業務は27年11月頃からの開始を見込んでいます。
- ※ 校舎の完成は31年3月頃を見込んでいます。

### 第4回の石山部会 について

第4回の石山部会は、通学や統合時期などについて検討を行うこととし、10月下旬から11月上旬の開催を予定しています。

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せ下さい ■

石山・芸術の森地域 学校規模適正化検討委員会 事務局  
札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 STV北2条ビル  
TEL 011-211-3836 / FAX 011-211-3837  
E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

- ※ この検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載予定です。  
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>